

## 第2章 目標と指標

本計画では、八街市教育大綱に掲げる4つの基本方針ごとに目標及び指標を定め、本市が目指す教育の基本理念の実現を目指します。

### 基本方針Ⅰ こどもの教育・健全育成の充実

#### 目標Ⅰ-Ⅰ 「生きる力」の育成

学校教育に対する市民の期待はきわめて高く、教育活動全体をとおして、「確かな学力」「豊かな人間性」「健康・体力」からなる「生きる力」を育み、生涯学習の基礎づくりとしての役割を果たすことが求められています。

学習指導要領においても、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となれるように、育成することが求められています。

こどもたちの「生きる力」の要素の中でも「確かな学力」を育成するために、GIGAスクール構想<sup>※2</sup>の推進による協働学習の充実や、個別最適化に向けた授業改善に取り組むとともに、学校・家庭・地域で理念を共有し、共に育む体制を推進します。

指標	現状値	目標値	指標の算定方法（出典元）
課題解決に向けて自分で考え自分から取り組む児童・生徒の割合	小学校 75% 中学校 80%	85%	全国学力・学習状況調査
児童・生徒のICT <sup>※3</sup> 活用を指導する能力のある教員の割合	小学校 75% 中学校 77%	85%	教育の情報化実態調査



タブレット端末や電子黒板を活用した授業の様子

目標1-2		多様な教育的ニーズの把握と指導・支援の充実	
<p>本市における長期欠席児童・生徒の問題は、喫緊の課題です。長期欠席者の適切な支援にあたっては、①本人が抱える問題、状況の把握 ②本人を取り巻く環境調整 ③本人の状態に適した支援が求められています。そして、さらに関係諸機関との連携も欠かせません。</p> <p>また、長期欠席者に限らず、特別な支援を要するケースや、外国にルーツのある児童・生徒の増加により、教育的ニーズが多様化しています。児童・生徒の権利の理解を基に一人一人のニーズを的確に把握し、生徒指導と教育相談が一体となったチームによる支援を推進します。</p>			
指標	現状値	目標値	指標の算定方法（出典元）
不登校児童・生徒のうち学校内外の専門機関（学級担任を除く）で相談・指導等を受けている割合	小学校 56.2%  中学校 37.1%	100%	児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査
外国人児童・生徒に対して、PC・タブレットなどのICT <sup>※3</sup> 機器を用いて学習活動等の支援を週1回以上行った学校の割合	小学校 62.5%  中学校 75.0%	100%	全国学力・学習状況調査

目標1-3		豊かな心の育成	
<p>VUCA<sup>※24</sup>（変動性、不確実性、複雑性、曖昧性）の時代と言われる今日においては、ウェルビーイング<sup>※25</sup>（精神的豊かさ）がますます重視されています。国の教育振興基本計画にも、豊かな心を育てるための道徳・人権教育や発達支持的生徒指導<sup>※26</sup>の推進、読書活動の充実が明記されています。</p> <p>本市においても、未来を支えるこどもたちが、地域や社会の中で幸せや生きがいを感じて生活することができるよう、これらの教育を積極的に推進します。</p>			
指標	現状値	目標値	指標の算定方法（出典元）
生徒指導アンケートにおける自己肯定感 <sup>※27</sup> 評価	74%	85%	全国学力・学習状況調査

目標1-4		教育機会の拡充、教育施設の整備	
<p>小中学校幼稚園施設整備事業の重点施策として学校トイレの改修(洋式化、乾式化)及び照明LED化<sup>※23</sup>を推進し、学校生活環境の向上を図るとともに、老朽化した学校施設、設備について、園児・児童・生徒の安全確保及び学校生活環境の向上を図るため計画的な改修を推進します。</p>			
指標	現状値	目標値	指標の算定方法(出典元)
トイレを改修した学校数(幼稚園含む)	6校	14校	市内16校の実績値
照明をLED化 <sup>※23</sup> した学校数(幼稚園含む)	3校	14校	市内16校の実績値



改修後のトイレ(八街東小学校)

目標1-5		家庭教育力・地域教育力の向上	
<p>地域コミュニティの希薄化により、家庭や地域を含む社会全体の教育力の向上が課題となっています。</p> <p>こどもたちが安全・安心で健やかに成長できるよう、関係団体等と連携・協働を進め、家庭及び地域の教育力の向上と青少年の健全な育成を推進します。</p>			
指標	現状値	目標値	指標の算定方法(出典元)
学校は、保護者や地域の力を学校運営に生かしていると思う保護者の割合	92%	100%	学校評価アンケート

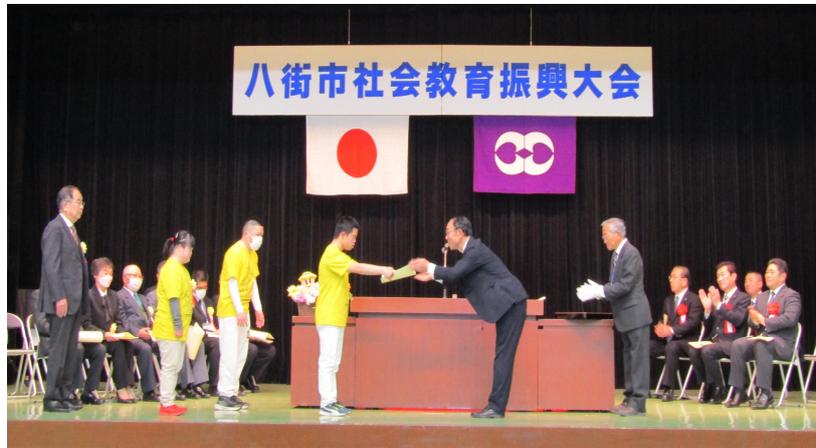
## 基本方針２ 生涯学習・スポーツの推進

### 目標２－１ 生涯学習支援体制の充実と関係団体への活動支援

「人生 100 年時代」を見据え、市民一人一人が生涯にわたり意欲を持って豊かに生活していくための学習環境が求められます。

すべての人が主体的に学びを継続できるよう、多様な学習情報の提供と社会教育人材の積極的な活用による生涯学習体制の充実を推進します。

指標	現状値	目標値	指標の算定方法（出典元）
社会教育振興大会への参加者数	283 人	600 人	実績値



八街市社会教育振興大会  
(社会教育功労者表彰)

### 目標２－２ 多様なニーズに応じた学習機会の充実

ライフスタイルの多様化により、生涯学習に対する市民のニーズは変化しています。生涯学習において、地域の学びの場であり、地域コミュニティの基盤である社会教育施設の役割は大変重要であることから、市民の多様化するニーズに対応した講座・教室・講演会の開催のほか、学習メニューの充実や開講日時の工夫による、幅広い年齢層の参加促進を図り、より一層の学習機会の拡充を図ります。

また、第2次八街市子どもの読書活動推進計画<sup>※28</sup>に基づき、家庭・地域、学校、図書館などにおける読書活動推進を図り、読書に親しむための機会を提供します。

指標	現状値	目標値	指標の算定方法（出典元）
人口1人あたりの 図書の貸し出し冊 数	3.36 冊/人	4.46 冊/人 ( 県内市町村 の平均値 )	千葉県公共図書館協会 <sup>※29</sup> 「千葉県の図書館」 <sup>※30</sup>

目標2-3		スポーツ・スポーツレクリエーションの普及	
市内のスポーツ活動を活性化させるため、各種団体の支援を行い、併せて市民の健康づくり・体力づくり、地域住民の交流のため、スポーツ・スポーツレクリエーションに誰もが親しむ環境を整備し、生涯スポーツの普及活動を推進します。			
指標	現状値	目標値	指標の算定方法（出典元）
参加者数	1,683人	1,850人	主要大会の合算値



スポーツレクリエーション祭（インディアカ）

目標2-4		社会教育施設・社会体育施設の整備	
本市において、誰もが文化芸術や読書、歴史、スポーツに親しめるよう、市内の社会教育施設及び社会体育施設を整備するとともに、これらの施設を有効活用し、文化芸術などに触れる機会やスポーツを体験できる場づくりを促進します。			
指標	現状値	目標値	指標の算定方法（出典元）
施設利用者数	498,300人	548,100人	図書館・中央公民館・郷土資料館・スポーツプラザ利用者の合算値

### 基本方針3 市民文化の創造と継承

#### 目標3-1 文化芸術活動の推進

優れた文化芸術に触れ、親しむことは、人々の心にゆとりと潤いをもたらし、日常生活を豊かにします。市民が行う文化芸術活動の発表や鑑賞する機会を充実させるとともに、市の文化芸術振興に取り組む各種団体の活動を支援し、市民による地域に根ざした文化芸術活動を推進します。

指標	現状値	目標値	指標の算定方法（出典元）
八街市民文化祭の参加・観覧者数	2,328人	2,700人	実績値



第66回 八街市民文化祭  
(展示部門)



第66回 八街市民文化祭  
(芸能部門)

#### 目標3-2 歴史・文化の保護と継承の推進

郷土の歴史に対する深い理解と、土地で育まれてきた文化を継承することは、「ふるさと」八街を未来へと紡ぐための礎となるものです。先人が築いてきた歴史や伝統文化を引き継ぐとともに、指定文化財<sup>※31</sup>や埋蔵文化財<sup>※32</sup>など、各種文化財の調査・研究や保存を進めながら、市民の理解と関心を高めるため、情報発信の充実を図ります。

指標	現状値	目標値	指標の算定方法（出典元）
文化財の指定等件数	22件	24件	文化財指定等総数 (追加指定を含む)

目標3-3		市史編さん事業の推進	
<p>自らが育ってきた地域の歴史的経緯や文化的特性を理解することは、個々人のアイデンティティの形成のみならず、魅力あるまちづくりや地域社会の形成に資するものです。そのため、市内に残された資・史料を収集し、整理に努め、調査・研究することで、豊かな自然環境と多様な歴史的影響のなかで形作られてきた“やちまた”の歴史をつまびらかにしていきます。</p> <p>その成果として『市史』の編さんに取り組み、次世代に持続可能な地域づくりの道しるべとするべく、『八街市史』等各種の刊行物を発行します。</p>			
指標	現状値	目標値	指標の算定方法（出典元）
八街市史の刊行巻数	2巻	4巻	八街市史(資料編等)の総巻数

目標3-4		市民の歴史・文化に対する意識高揚と協働事業の推進	
<p>地域に残されてきた歴史や文化は市民共有の財産であり、市民一人一人がそれを学び、大切に思う心が、ふるさとに対する愛着と親しみを育みます。</p> <p>また、持続可能な地域コミュニティを構築・強化していくためには、市民との協働によりこれらを継承し、新たな文化を創造していくことこそが重要であることから、あらゆる世代の人々が郷土の歴史・文化を学び、触れられる機会を拡充するとともに、市民との協働による保存、普及活動を推進します。</p>			
指標	現状値	目標値	指標の算定方法（出典元）
各種講座の実施件数	27回/年	30回/年	実績値の累計/計画期間(5年)



文化財ボランティアによる歴史ガイド①



文化財ボランティアによる歴史ガイド②

## 基本方針４ 豊かな心を育む交流の推進

### 目標４－１ 国際交流の推進

国際情勢が不安定化し、地球規模の課題が山積する中、多様性の理解や社会貢献、国際貢献の精神等を身につけたグローバル人材<sup>※33</sup>の育成が求められています。本市においても、文化の壁を越えて良好な関係を構築できるコミュニケーション能力の育成を中心に、地域や様々な分野で活躍し、国際社会の平和と発展に寄与できるグローバル人材<sup>※33</sup>の育成を推進します。

指標	現状値	目標値	指標の算定方法（出典元）
外国との交流に興味関心を持つ児童・生徒の割合	小学校 64.4% 中学校 68.6%	80%	全国学力・学習状況調査



Yachimata English Day Camp

### 目標４－２ 文化間交流の推進

地域社会の中で様々な年齢の友人との世代を超えた交流は、家族や学校の枠を超えた、新たな人間関係の構築や拡大につながります。また、他国の文化や価値観に対する理解を深める活動は、自国文化の魅力を再認識することができ、豊かな心を育む上で有意義なものとなります。

様々な体験・交流活動や学習プログラムへの参加を促し、豊かな人間性や社会性を育む心を育成します。

指標	現状値	目標値	指標の算定方法（出典元）
自分と異なる価値観への理解が深まったと感じた人の割合	61%	100%	講座参加者アンケート

目標4-3 地域に根差したウェルビーイング <sup>※25</sup> の向上			
<p>価値観の多様化が進む中、誰一人取り残されることなく、誰もが生き生きとした人生を享受することのできる共生社会の実現を目指し、その実現に向けた社会的包摂<sup>※34</sup>を推進する必要があります。</p> <p>地域や家庭で共に学び支え合う社会の実現に向けた教育を通じ、地域に根差したウェルビーイング<sup>※25</sup>の向上を推進します。</p>			
指標	現状	目標値	指標の算定方法（出典元）
普段の生活の中で幸せを実感した児童・生徒の割合	小学校 86% 中学校 83%	100%	全国学力・学習状況調査



家庭教育学級